



2020年12月28日

各 位

会社名 株式会社メドレックス  
代表者名 代表取締役社長 松村 米浩  
(コード番号：4586 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 藤岡 健  
経営管理部長  
(TEL. 03-3664-9665)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年4月16日に発表しました2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の連結業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

2020年12月期連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	334	△1,089	△1,088	△1,091	△71.74
今回修正予想（B）	115	△1,131	△1,153	△1,115	△68.70
増減額（B－A）	△219	△41	△64	△24	
増減率（％）	△65.6	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2019年12月期）	169	△1,627	△1,633	△1,616	△134.32

修正の理由：

#### 売上高の減少について

業績予想としてCPN-101（MRX-4TZT）のライセンス先であるCipla Technologies, LLC（以下「Cipla」）からのマイルストーン収入200万ドルを計上しておりましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の全世界的な感染拡大の影響等により、臨床第Ⅱ相試験を開始するに至りませんでした。そのため、マイルストーン収入200万ドルについて当期は獲得できず、来期にずれ込むことになりました。CPN-101については、臨床第Ⅱ相試験の準備を進めるのと並行して、Ciplaとの間で今後の開発の進め方について協議しています。

以上から、売上高については前回発表予想よりも219百万円減少しております。

### 利益の減少について

費用については、主としてCOVID-19の感染拡大の影響による米国での臨床開発の遅延により研究開発費が業績予想よりも175百万円減少しております。しかし、上記売上高の減少幅の方が大きく、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回発表予想よりも赤字幅が拡大しております。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上